

住民の気持ちを想像しよう

5年国語科『世界でいちばんやかましい音』

1 目標

- ・読みの視点に着目して、山場前と山場後の人物や町の変化を読み取ることができる。
(知識・技能)
- ・町に住む人々の気持ちを想像して、自分の考えを書いたり、話したりしている。
(思考・判断・表現)
- ・作者が伝えたいことを考えたり、自分の成長に気付いたりしようとしている。
(主体的に学習に取り組む態度)

2 子どもの実態

本学年の子どもたちは、昨年度の『ごんぎつね』で読みの視点やキーワードに着目して物語を読み深めることを行った。文章に書かれている部分から登場人物の思考やきもちを読み取ることができていたのだが、文章に書かれていない部分を想像し、考えることができない児童がほとんどである。そのため、本単元の授業内では読みの視点やキーワードに着目し物語を読むとともに、【まなふり】で住民たちの町や王子様、王様に対する考えや気持ちを想像し考えることを行う。そのことにより、文章の表現から読み取ることができない部分の話し合いを行うことによって想像し思考することができるようにしたい。

3 単元観

本教材の舞台となっている、ガヤガヤの町は世界でいちばんやかましい町であり、町の王子様ギャオギャオは、大人顔負けのやかましい音を出すことができる。ギャオギャオの誕生日当日、世界中の人々が一斉に叫び「世界でいちばんやかましい音」をプレゼントする予定であったが、世界中の人々は、自分たちもその音が聞きたいという自己中心的な考えをもったことで、誰も叫ばなかった。そして、沈黙に包まれるガヤガヤの町。初めて静かな町で聞こえる自然の音を聞いた王子様は大変喜び、その後の町は思いやりと平和を大切にす町となったという話である。

子どもたちは昨年度、読みの視点に着目して物語を読むことを行っている。そこで導入で場面分けをして設定、展開、山場、結末の物語の構造を捉えたあと、どのような言葉に着目して読むとよいかを考えさせる。子どもたちから出てきた視点を常に掲示し、各場面の読み取りでキーワードをもとに登場人物の思いを考えさせたい。また、話し合いの課題を「どんな町だろう」「どんな王子様だろう」「どんな王様だろう」とし、毎時間の【まなふり】を「町に住む人や、お城で働く人はどんな気持ちなのだろう」とする。視点を変えて読む読み方を身に付け、結末の読み取りで「変わったことは何か」についての話し合いを行う。

4 単元計画（全8時間）

時	学習内容と活動	振り返りについての課題と意図
1	<u>場面分けを行う</u> ○場面を設定、展開、山場、結末の4つに分ける ○場面が変わるのは、時間、場所、登場人物が	※授業の内容によって振り返りの視点を変更することがあります。

	<p>変わるところであることも併せて確認する。</p> <p>○読みの視点を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反復する言葉 ・カタカナ ・町を表す言葉 	
2	<p>ガヤガヤはどんな町なのかを読み取ろう</p> <p>○1場面（設定）を読み、ガヤガヤはどんな町なのかを読みとる。</p> <p>○キーワードの確認をする。2回繰り返している言葉→やかましさを表している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アヒル→クワックワッ ・家の戸→バタンバタン ・「自分たちの・・・」の繰り返し→自慢している。 ・これよりガヤガヤの都 世界で一番やかましい町 	<p>まなふり</p> <p>住んでいる人たちはこの町をどう思っているのか。（住民目線からの町に対する思いを授業を通して考える。終盤で町の変化の際にふりふりとして自分の考えを整理するための課題。）</p>
3	<p>王子様はどんな人かを読み取ろう</p> <p>○2場面（設定）から王子様がどんな人かを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドラム缶とバケツ→ガラガラガッシャングッシャングッシャン ・大声でわめき散らしながら・・・→音を鳴らすことが生きがい。 ・「ぼくは、世界で一番やかましい音が聞きたい。」→わがまま 	<p>まなふり</p> <p>お城の人たちは王子様のことをどう思っているのか。（お城の人たちからの目線で、王子様はどのように周囲の人から思われていたのかを考えることでより客観的に性格を考えることができる。）</p>
4	<p>王様はどんな人なのかを読み取ろう</p> <p>○3場面（展開）を読み、王様の人物像を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史に名が残る。→自己中心的 ・警官全員を動員して笛をけたたましく鳴らさせる。→一度やっているので、なかなかのやかましさを持っている。 ・たくさんの方で世界中に使いを送った。→お金を使うことを惜しまない。 	<p>まなふり</p> <p>城の人や町のは王様をどう思っているのか。</p> <p>（町のやかましさは王様の影響が大きいということに気付かせたい。）</p>
5	<p>世界中の人々の気持ちを読みとろう</p> <p>○4, 5, 6場面前半（展開前半）を読み、世界中の人の気持ちを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなに小さな村へ行っても、このことでポスターの出ていない国はありませんでした。→ 	<p>まなふり</p> <p>世界の人々のことをあなたはどうか。（世界中の人たちの気持ちを考えて上で、それに対しての自分の思いを考えることでより深い読みこ</p>

	<p>世界中の人が楽しみにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガヤガヤからずっとずっと離れた、ある小さな町で。おくさんの提案が世界中に広がった。 <p>→世界中の人は、悪気はないけど、一人一人が世界で一番やかましい音を聞きたかったため、王子様の誕生日を祝う気持ちは十分あったけど叫ばなかった。</p> <p>6 ガヤガヤの町の人々の気持ちを読み取ろう</p> <p>○7, 8 (山場) 場面を読み、ガヤガヤの人たちの気持ちを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今か今かと待っていました。→世界でいちばんやかましい音が聞けるぞ! ・人々は王子様に悪いことをしたと思いました ・あれは、何でしょう?→町民の視点。うれしくて、興奮していることが分かる。 ・誰も叫ばなかった。→王子様に申し訳ない。 <p>7 変わったものは何だろう (本時)</p> <p>○9 場面 (結末) を読み、ガヤガヤの何が変わったのかを考える。(キーワードの変化に注目する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界中のどこのアヒルよりもやわらかな声でクワクワと鳴く。 ・家の戸は音を立てずにすってしまった。 ・ようこそ、ガヤガヤの都へ 世界でいちばん静かな町。→自分達中心だったが、周囲の人への優しさや思いやる気持ちが感じられる。 ・繰り返し使われる言葉がなくなっている。 ・自分たちの、自分たちのと言っていたが、ガヤガヤの町の・・・に変化している。→住民の考え自体が変化していることがわかる。 <p>8 作者はこの作品を通して何を言いたかったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことばかりを考えていても良くない。 ・一度の失敗で、良い方向に進むことができるかもしれない。 <p>読みの視点に着目して読むことで、自分ができるようになったこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接書かれていない住民の気持ちを想像すると町の変化が捉えられることが分かった。 ・音にも住んでいる人の気持ちが表れていることが分かった。 	<p>なると考えられる。)</p> <p>まなふり</p> <p>小鳥の歌を聴いて喜んでいる王子様の様子を見て住民たちはどう思ったか。(山場で大きく変化した王子様に対する住民の思いを考えることで、住民たちの心の変化を考える。)</p> <p>まなふり</p> <p>住民達の心がどう変わったから平和な町になったのか。</p> <p>(前時までのふり返しを見返し、以前と山場をこえたあとの住人たちの気持ちがどう変わったかを考えることで、物語の変化を捉える。)</p> <p>ひろふり</p> <p>作者がこの作品を通して伝えたかったが何かを学習をふり返り、考える。</p> <p>(今回の学習を通して、学んだことを自分の生活に生かすことができるような視点にする。)</p>
--	---	---

5 本時の目標（7／8）

- ・読みの視点に着目し、ガヤガヤの町の変化を読み取ることができる。（知識・技能）
- ・山場前と後の変化を読み取り、住民たちの心がどう変わったから町は平和になったのかを考えている。（思考・判断・表現）
- ・学習の課題に対し、前時までの自分のふり返りと、本時の学びを見比べながら考えようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

6 本時の構想

子どもたちはこれまでに、ガヤガヤの町、ギャオギャオ王子、王様、世界中の人々について読み深めてきた。本時では、導入で前時の【まなふり】の、王子様への町の人々の気持ちを共有する。そして、9場面（結末）を読み、山場をこえる前とこえた後では何が変わったのかを考える。この際、読みの視点に着目することを忘れないようにする。アヒルの鳴き方がやわらかくなったこと、家の戸がすっと閉まるようになったことなどは、文章の書き方は設定の場面と同じだが、読みの視点である繰り返し使われる言葉がなくなっていることや、「自分たちの」、「自分たちの」といっていたのが、「ガヤガヤの町の」と変化している部分や、町の立て札にも着目したい。

本時のふり返りとして、住民たちの心がどう変わったから町は平和になったのかを書くことにする。本時までのふり返りに、住民の、町や王子様、王様に対する思いを書いてきた。自分の今までの考えと、今回の学びを比較し新たに考えることで、より深い学びになることに期待したい。また、毎時間の授業のまとめと、児童のふり返りを載せた通信を作成し、教室掲示と児童に配りいつでも授業の足跡が見ることができるようになることで授業のつながりを意識し、学びを深めたい。

7 指導過程

	学習活動	指導上の留意点
0	1 前時のふり返りを聞く。 ・王子様が喜んでいる。うれしい。 ・なんで喜んでいるんだろう。 ・自分も初めて鳥の歌を聞いたなあ。 2 学習のめあてと物語を読む際の読みの視点を確認する。	国語通信に前時のまなふりを載せておき載っている順に発表するように伝える。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 変わったものは何だろう。 </div>	
10	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">読みの視点</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">キーワード</div> </div> ・繰り返し使われる言葉 ・音を表す言葉 ・濁音 ・音 ・町	
15	3 8, 9場面からはじめのガヤガヤと何が変わったのかを考える。	・読み取りがしやすくなるように、キ

<p>3 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・王子様が小鳥の歌を聴いて喜んだ。→騒がしい音ではなく、自然の音を初めて聞いて感動した。 ・アヒルは柔らかな声でクワクワと鳴いた。 ・家の戸は音を立てずにすっと閉じる ・おまわりさんやさしくそっと笛を吹く→町の人全員が静かな音を好むようになった。 ・<u>町が変わったのは王子様が変わったから。</u> ・立て札が変わっている。→「ようこそ」ってなっているからみんなを受け入れようとしている。 <p>4 住民の心がどう変わったから、平和になったのか。【まなふり】</p> <p>○結末のギャギャの住人たちの心の変化を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までは自分のことしか考えていなかったけど、人のことを思いやる気持ちが出てきたから平和になったと思う。 ・うるさい音を出すことに夢中だったけど、静かさや落ち着きを知ったから。 ・町の人たちは、今まではどんなに周りに迷惑をかけても気にしなかったけど、今は思いやる心が大切だと思っている。 	<p>一ワードに着目することをもう一度確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較して考えることができるように今までの場面を見返すように伝える。 <p>←他に変わったことがないか繰り返し発問を行う。</p>
------------	--	--

8 板書計画



まなふり

これより
ギャギャの都
世界でいちばん
やかましい町

ようこそ
ギャギャの都へ
世界でいちばん
静かな町

思いやり

心が変わった

おまわりさん

とびら

アヒル

・けたたましい音

・やさしくそっと

・ボタンボタン

・すっと

・クワックワツ

・クワクワ

・やかましい音が好き

うるささを自慢

乱暴

・静かに話す

・みんなのため

乱暴じやない

・自然の音が好き

静かさを自慢

世界でいちばんやかましい音

め 変わったものはなんだろう

- 5 -